



欧州ビジネス協会  
在日欧州（連合）商工会議所

# 銀行業務

主要な問題および提案



# 統合金融サービス市場

# 統合金融サービス市場

## 年次現状報告：若干の進展

- ❑ EBCは、外国の金融グループが日本国内で単独のカントリーマネージャーによって代表されることや、従来認められていたものより大量の顧客情報をグループ会社間で交換することを原則的に可能にした改革を歓迎する。
- ❑ これは、従来の役員兼任問題を軽減した。しかし、この改革の実施方法についてのガイドラインは、こうした新しい機会を活用することを実際上困難にしている。
- ❑ しかも、各事業体は、そもそもグループ単位で共有できるはずの機能や組織構造を別々に維持する必要がある。
- ❑ これを改めることは、金融センターとしての日本の魅力を高めるための一歩となるだろう。



# 統合金融サービス市場

## 提案

日本政府は、金融機関が銀行業務と証券業務を同時に営むことを禁じている金融商品取引法第33条を改正すべきである。金融庁は、最低限でも、欧州の場合と同水準の情報共有と簡略化されたオプトアウト制度を認めるかたちにガイドラインを変更すべきである。



# 透明性と規制の効率

# 透明性と規制の効率

## 年次現状報告:進展

- ❑ 金融庁、証券取引等監視委員会 (SESC)、東京証券取引所 (TSE)、日本証券業協会 (JSDA)、財務省、日本銀行による重複的な検査は、かねてより、規制対象法人に過度な事務上の負担を課してきた。
- ❑ EBCは日本政府に対し効率と透明性を高めるよう促す一方、金融庁がその年の検査重点事項を明確化する年次検査基本計画を発表していること、および特定のケースにおいて検査の事前通知を提供していることを高く評価する。とりわけ、より安定した業務環境を創出するに至った、金融庁のコミュニケーションの改善は賞賛されるべきである。

# 透明性と規制の効率

## 年次現状報告: 進展

- ❑ こうした改善もある一方で、過度にルールに依拠する日本の規制環境は、ルールが具体的にどのように解釈・適用されるかについての規制当局との事前協議が充分行われない限り、規制対象法人の側にイノベーションの余地をあまり与えぬこととなっている。
- ❑ そうしたルールに依拠しながら不明確さを残した規制の枠組では、金融商品と金融市場の変化のペースに追いついて行けない。

# 透明性と規制の効率

## 提案

- ❑ 金融庁の規則と規制は、公正かつ時宜に応じたユニバーサルな方向性に沿うようなかたちで、一貫性をもって適用され、明確化されるべきである。
- ❑ 金融庁やその他の規制当局は、良きガバナンスとして公表された一般原則と、こうした原則をいかに遵守していくかという規制対象法人との活発な対話に基きながら運営していくことにより、金融サービス市場におけるイノベーションと競争力強化を奨励すべきである。



# 銀行代理店制度

# 銀行代理店制度

## 年次現状報告：新たな問題

- 2009年に導入された銀行代理店制度では、欧州銀行の日本支店は、ほかの銀行（それが同じ金融グループの日本国外の支店であっても）が提供している新しい銀行サービスを日本の顧客に提供することを計画する度に、特別の事業免許を申請する必要がある。
- これは、グローバル金融グループの日本部門が海外に口座を開く日本の個人または法人顧客をサポートしたり、日本以外の支店から提供されるグローバル現金管理サービス等のサービスを日本の顧客に提供したりする国境を越えたサービスに著しく影響を及ぼす。
- EBCは国境を越えた取引に適切な規制の枠組みを提供する日本の当局の取り組みを支持するとはいえ、新しい銀行代理店免許の申請に関する基準を明確化し、行政レベルでの審査・承認手続を迅速化するために、現行の制度は改善されなければならないと考える。

# 銀行代理店制度

## 年次現状報告：新たな問題

- EBCは国境を越えた取引に適切な規制の枠組みを提供する日本の当局の取り組みを支持するとはいえ、新しい銀行代理店免許の申請に関する基準を明確化し、行政レベルでの審査・承認手続を迅速化するために、現行の制度は改善されなければならないと考える。

## 提案

金融庁は、銀行代理店免許の申請手続を明確化・合理化すべきである。



欧州ビジネス協会  
在日欧州(連合)商工会議所